

# 記者配布資料

平成24年1月31日

部 課 名	課長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
健康福祉部 健康増進課	三輪 茂之	母子保健・感染症班 弘田 隆彦	主任技師 長井 詩乃	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩 首都圏			

## 老人保健福祉施設における感染性胃腸炎の発生について

萩市内の老人保健福祉施設において、下記のとおり感染性胃腸炎の集団発生がありました。感染性胃腸炎が流行しやすい時季になりますので、予防対策に努めましょう。

### 記

#### 1 集団発生の概要

- (1) 発症月日 1月27日(金)
- (2) 有症者数 1月31日現在 11名 (入所者10名、職員1名)  
(これまで13名が発症し、うち2名は既に回復)
- (3) 症 状 嘔吐、下痢(重症者なし)

#### 2 対応

萩健康福祉センターが当該施設に対し、消毒方法等の衛生指導を実施

#### 3 予防対策

感染性胃腸炎は、例年、冬季(11月から3月)に流行しますので、注意が必要です。

#### 【感染性胃腸炎の予防対策】

- ①石けんでよく手を洗いましょう。
- ②感染した人の便やおう吐物には、**直接触れないように**しましょう。  
使い捨ての手袋やティッシュペーパー(キッチンペーパー)などを使って処分しましょう。  
嘔吐物のあった床などは、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度0.02%：市販の塩素系漂白剤は250倍に希釈)で浸すように拭き、10分後に水拭きしてください。
- ③**食品の取扱に注意**しましょう。  
食品は、中心部までよく加熱(85℃、1分間以上)しましょう。
- ④**調理器具はよく洗って、殺菌**しましょう。  
熱湯(85℃、1分間以上)や塩素濃度0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(市販の塩素系漂白剤を薄めたものなど)で殺菌しましょう。

(参考)

感染性胃腸炎とは

- (1) 病原体：ウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルス等)  
細菌(カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなど)
- (2) 感染経路：食品や水を介しての経口感染や吐物、便を介しての接触感染(二次感染)
- (3) 臨床症状：発熱、下痢、嘔吐、腹痛など
- (4) 山口県の発生状況 山口県感染症情報センターホームページ  
[http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/2012w\\_1.php?w=3](http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/2012w_1.php?w=3)